



写真提供／鯉が窪美写者会 田枝 敏

NPO
通信

「健康」について
考えよう

テレビを筆頭に、新聞・雑誌など健康づくりのための運動や食事、生活習慣、サプリメント・薬のCMなどの報道があふれています。

健康でありたい、みんなが望むものですが、単に病気でない・弱っていないことが「健康」なのでしょうか？

WHO憲章に「健康とは、完全な肉体的・精神のおよび社会的幸福の状態であり、単に病気でない、弱っていないことだけではない」と定義され、同時に「全ての人々の健康は、平和と安全を達成する基礎である」と示されています。

哲西地域では、診療所が出来て以来「みんなの健康は地域の財産!!」との考えのもと健康づくりや地域包括ケアが進められましたが、まさに同じ考え方であったと云えます。

人生100年時代を迎え、層層大切になる取り組みでもあります。

昨年、西日本豪雨のため中止のやむなきに至った「きらめき健康福祉まつり」が、今年は7月13日(土)市内15団体協働で開催すべく準備が進められています。

スローガンは「自分で守る、みんなを支える、みんなの健康」です。

人生100年時代を生き抜くため、改めて「健康」について一人一人が考え、その大切さについて再認識するとともに、新たな一歩を踏み出して具体的な行動につなげていきたいものです。



第30回

鯉が窪湿原まつり

来場者8000人!

様々な催しで多くの来場者を楽しませました。



哲西公民館 第1回 寿学級



5月10日、きらめき広場・哲西文化ホールで寿学級の開講式が開催されました。

この日は、田邊公民館長の挨拶の後、野馳駐在所の秋山巡查部長と矢神駐在所の石原巡查長、哲西支局職員が「次はあなたが騙されるかも……特殊詐欺から身を守ろう」と題した寸劇を行いました。

犯行手口を分りやすく紹介した内容で熱演し、被害に逢わないよう注意を呼びかけました。参加者は熱心に見入っていました。





5/14 春の交通安全運動

きらめき広場・ 哲西前でテント村

ドライバーに交通安全を
呼び掛けました。

矢神駅の御衣黄桜

矢神駅の御衣黄桜は新見市天然記念物に指定されており、淡い緑色の花の魅力にひかれ、今年も県内外から多くの方が訪れました。



3月30日に行われた矢神駅の
清掃活動・御衣黄桜の保護活動
哲西町矢田のJ.R矢神駅で老人クラブ
白菊会と御衣黄桜をまもる会の会員が
ホームの庭木の剪定や草刈り草取りなど
の清掃に汗を流しました。



あなたの地区の愛育委員

令和元年度 市愛育委員会哲西支部 担当地区役員(敬称略)

担当地区	氏名	担当地区	氏名	担当地区	氏名
1 二本松	瀬尾 幸乃	20 信藤	入江 悦子	39 倉木	赤木 一江
2 二本松中	花田きみ子	21 高野	兒山 純子	40 桑本・右原	伊達 真澄
3 岸本上	浅井 和枝	22 川東	沖津 和昭	41 右原	安部 昭子
4 岸本下	矢田谷登美子	23 川西	渡邊 礼子	42 西江・貝田	村上 和子
5 東区上・下	藤村 陽子	24 川南	賀島 浩枝	43 大茅	杉本 千年
6 青谷	加藤千得子	25 井下・城山	野平 静重	44 宮の尾	澁川 文子
7 四日市上	三上 和美	26 天王	三浦 武子	45 下馬	石井 洋子
8 四日市中・下	大森 景子	27 矢田谷	三上美佐枝	46 赤谷	安田マサミ
9 住吉上・中団地	小坂 良子	28 武内	森島 京子	47 日長谷	田林 忍
10 住吉下	黒川真里子	29 馬場上・下	村上利知巳	48 平古屋	松本 京子
11 町	逸見 恭子	30 本町	高木 由夏	49 住吉	川原富美子
12 伏谷	安田 恵子	31 奥	足立美智恵	50 大和	坂口美弥子
13 長原	横田 宣子	32 金比羅	寺奥 幸子	51 二の宮・上工	大平加代子
14 中央団地	鈴木 順子	33 元町	渡辺 京子	52 市岡・旭	安田 敦子
15 本区	田邊 清	34 浪方	津々池秋美	53 下夕・佐藤	藤川 菊恵
16 日の本	西川 和子	35 荒堀	青木 直子	54 下モ・佐藤	伊藤 澄江
17 頼重	中山 淳子	36 土井上	石迫八千代	55 干子	津村 定代
18 生木	清水トメ子	37 土井下	入江 光江	56 高石	井原 好恵
19 野原	田邊美千子	38 横田	中山ミヨコ		





哲西子育て広場

市の委託を受けNPOきらめき広場が運営

毎週月、水、金曜日 10:00～15:00
月1回土曜日 10:00～12:00

担当
荒木

5/11 ● 消防署見学したよ!

5/3 ● 木のおもちゃで遊んだよ!

子育てをしておられる方、どなたでも参加できますのでお子様と一緒に遊びにおいでください。みんなで楽しみながら子育てをしましょう。
子育て中の方なら、どなたでも参加できます

- 6月の
予定
- 8日(土) 10:00～12:00 「小麦粉ねん土あそび」
 - 10日(月)～14日(金) 10:00～
ペットボトルで工作「ミニミニ傘」・紙コップで工作「うで時計」
 - 17日(月) 10:30～ 子ども映画会DVD「はらぺこあおむし」
 - 21日(金) 14:00～ 昔話のおはなし会

内科

岡山大学より医学部3年田中泰人さんが去る平成30年12月17日～21日の1週間、実習に来られました。

実習の感想を掲載いたします。

私は、12月17日から21日まで哲西町診療所で実習をさせて頂いた。今回の実習では、多くの体験をさせて頂き、多くの事を学ぶことができたと思う。その中でも特に印象に残ったのは、哲西町では①医療機関と住民との間に信頼関係が構築されていた事と②多職種連携が実現できていた事である。以下、それらの点につき具体的に述べる。

①医療機関と住民との間に信頼関係が構築されていた事

哲西町では、私の知る他の地域（大阪市など）と比較して、診療所と住民との間に信頼関係が構築されていた。私はその理由は何であるか、実習を通して考えた。その結果、医師のみならず住民や行政・NPOなどもより良い地域医療を実現させようとして、自発的に行動してきた点が主な原因であるという考えに

至った。具体的には、隠岐から佐藤先生が哲西に来られた時、住民・行政などが仲介し何度も住民と対面し、信頼関係が構築された。また、診療所開設後もミニデイサービスという場で小規模の講演会を何度も行っておられた。これらにより、住民は医師の人柄を知ることができ、ほとんどの住民が診療所に対して信頼するに至ったと考えられる。

哲西町のような僻地の場合、住民は医師に対して長時間労働を望み、医師は初めそれに応える意欲を持ちながらも時間の経過とともに気力・体力の限界を感じ、去るという構図になることがあり得る。哲西町の場合、一部の住民がNPOを立ち上げ、住民と医師との潤滑油となったことにより、医師が残ったものと思う。このアイデアは、他の地域ではあまり多く見られないものであり、医師不足に悩む他の地域の参考になるものと考ええる。

②多職種連携が実現できていた事

また、哲西町の特徴として、きめの細かい多職種連携が図られている

点があげられる。前述のように、医師と住民の間に信頼関係が構築されたとしても、医師だけで良質な医療サービスを実現することは困難であり、看護師・ケアマネージャーなど多職種の連携が不可欠である。そのような連携が哲西町ではうまく実現できているように感じられた。

具体的には、月1回多職種の連携のための会議が実施されていた。その会議には、医師や看護師だけでなく民生委員や歯科医なども参加していた。そこでは、住民1人1人の細かい情報が共有され、よりよい医療・福祉サービスの実現に生かされていた。また、この会議以外でもケアマネージャーは介護プランを作成するだけでなく、医師との情報交換を頻繁に行っていた。これらによって、他の地域よりもきめの細かい多職種連携が実現できたと考えられる。

まとめ

哲西町は人口2500人の町であり、この町のやり方をより大規模な市町村にそのまま適用することは困難である。しかし、IT技術を用いて多職種連携を図ったりすることに

より、「哲西町のやり方」を他の地域で用いることは可能であると考えられる。この実習の経験を活かし、よりよい医療サービスを提供できるようにしていきたい。



6月の担当医表 (岡山光生病院から)

4日(火)	池田(外科)	外傷外科・胸部外科
11日(火)	藤原(内科)	消化器(内視鏡)
18日(火)	高村(内科)	消化器内科
25日(火)	多田(皮膚科)	アレルギー性皮膚疾患 皮膚細菌性感染症

*理学療法士によるリハビリは毎週火曜日です。
*受診希望の方は、あらかじめご連絡ください。





認知症カフェ きらめき 第14回 開催

5月15日、NPOきらめき広場が、道の駅鯉が窪文化伝習館で第14回目の「認知症カフェきらめき」を開催しました。

皆さん、お気軽にお立ち寄りください

認知症カフェきらめき



開催日時 月1回 第1水曜日 13:30~15:30

場 所 道の駅鯉が窪 文化伝習館

内 容 カフェタイム、ミニ講話（専門的情報を受け取る）、参加者同士の語らい、ミニイベント、情報交換、相談など

参加者 気軽に誰でも参加できる（認知症の人、介護家族、地域住民、専門職など）

参加費 1人1回、200円

主 催 きらめきカフェ運営委員会

開催予定日 6月5日（水）・7月3日（水）



哲西の創作昔話



哲西の創作昔話

金の皿

作話 小川 裕子

昔、上神代の庄屋さんの家に、それは見事な金の皿が一枚あった。庄屋さんはそれが自慢で、とても大切にしていまはしまつてあった。ある時、一人の旅人がやってきて一晩泊まることになった。庄屋さんは、旅人と酒を飲み酔ったはずみについて、金の皿のことをしゃべってしまった。

翌朝旅人が出発した後、金の皿は鉄の皿に変わっていた。あわてた庄屋さんは、旅人を追いかけて、「金の皿を返せ」と言った。すると、旅人は「金だと思えば思い上がる。鉄だと思えば平常心で暮らせる」と答えた。

家に帰ると、元の金の皿にもどっていた。それからは、旅人の言ったことを忘れず、自らの慢心をいまして、村のために力を注いだということじゃ。

昔こつぷり、どじょうのめ。



図書館 だより

新見市立哲西図書館
TEL94-2110 FAX94-2100

休館日のお知らせ
年中無休です
[年末年始、蔵書点検日を除く]



哲西図書館利用者の ための乳幼児一時預かり

毎月第1・第3月曜日 10:00~12:00
きらめき広場・哲西プレイルーム

今月の展示本

哲西荘のみなさんが、
掲示してくださいました。
いつもありがとうございます。

◎児童コーナー「雨」

しとしと、ぱらぱら、ざあざあ。
いろいろな雨にちなんだ絵本
を集めています。



◎展示コーナー「梅雨対策」

じめじめした梅雨の季節がやっ
てきました。そんな梅雨に備えた
便利な本をそろえています。



子ども映画会

日時 6月17日(月)
10:30~
場所 きらめき広場・哲西
プレイルーム
内容 DVD



「なせ? どうし? があがおぶー!?'

ミニマジックショーを開催しました

去る5月10日、We東城店の
佐藤友則社長にミニマジック
ショーをしていただきました。
次々に目の前で繰り出される
マジックの数々に、子どもた
ちは大喜びでした。





●ご寄付ありがとう

ございました(敬称略)

■香典返し

- 宝蔵百合子(亡夫重登) 上神代 老人クラブ三光会へ金一封
- 山岡 智紀(亡父哲克) 上神代 老人クラブむつみ会へ金一封
- 三上 誠一(亡母米子) 矢田 老人クラブみどり会へ金一封

■哲西図書館へ本を寄贈して下さった方

- 沖津 未青 唐松

●哲西荘へご寄付

ありがとうございました

(敬称略)

■香典返し

- 皮田一二三(亡母雪枝) 上神代 車椅子
- 三上 誠一(亡母米子) 矢田 金一封

■見舞返し

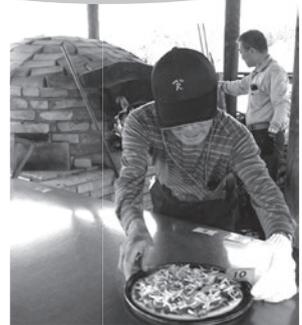
- 名越時廣 タオル200枚 畑木

■一般寄付

- 賀島益安 干しいたけ 大野部
- 田口石油興業(株) 山陽新聞
- 松陽産業(株) 備北民報
- 妹尾観光バス・妹尾タクシー 備北民報
- いくま石油(株) 山陽新聞

哲西未来会

道の駅鯉が窪での
ピザ焼き体験



次回 6月29日(土)

予約申込み・問合せ先

090-6843-3606(宮崎)

要予約



文学講演会

演題 牧水と万葉集

～『類題万葉短歌全集』の印から～

講師 田中 教子先生(現代歌人協会他)

日時 6月16日(日)14:00～15:30

場所 きらめき広場・哲西 第1研修室

主催 新見市哲西牧水顕彰会・哲西公民館

入場料 無料

問合せ先 新見市哲西牧水顕彰会事務局

浅井幹夫TEL94-3177

哲西公民館TEL94-2111



明るく、楽しく、元気な
情報提供をお願いします

情報誌きらら

気持ちも新たに15年目スタートします

皆さまと一緒に作る情報誌です

「こんな行事があります」「あの人が頑張っています」「こんな楽しい写真が撮れました」「皆で旅行へ行って来ました」「あのこと、載せたらどうでしょう」など、どんな情報でもいただけたら助かります。下記
の問合せ先までお知らせください。皆さまの情報交換のお役に立ちたいと思っています。

短歌作品募集

- 題は自由
- 応募は市内外を問わず可能
- 応募作品は一人1首
- A4用紙に楷書、縦書きで記入のうえ、氏名、住所、年齢、電話番号を明記
- 一人1,000円が必要(小・中学生は無料)
- 優秀作品は9月21日(土)の牧水歌碑祭で表彰
- 応募締め切り 7月16日(火)
- 作品提出先 新見市哲西支局地域振興課哲西公民館
- 問合せ先 浅井幹夫 TEL94-3177



「幾山河の里」の集い&短歌作品募集

日時 7月27日(土)

開会 13:00～13:10

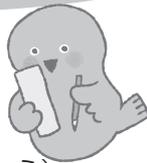
講演 13:10～14:10

短歌の講評(応募作品の中から)

14:20～15:20

場所 きらめき広場・哲西 第1研修室

講師 大森 静佳先生(「塔」短歌会編集委員)



問合せ先

NPOきらめき広場 事務局 〒719-3701岡山県新見市哲西町矢田3604

TEL(0867)94-2143 or 090-8994-7068 FAX(0867)94-2100

HP:http://www.npo-kirameki.jp/ E-mail:post@npo-kirameki.jp